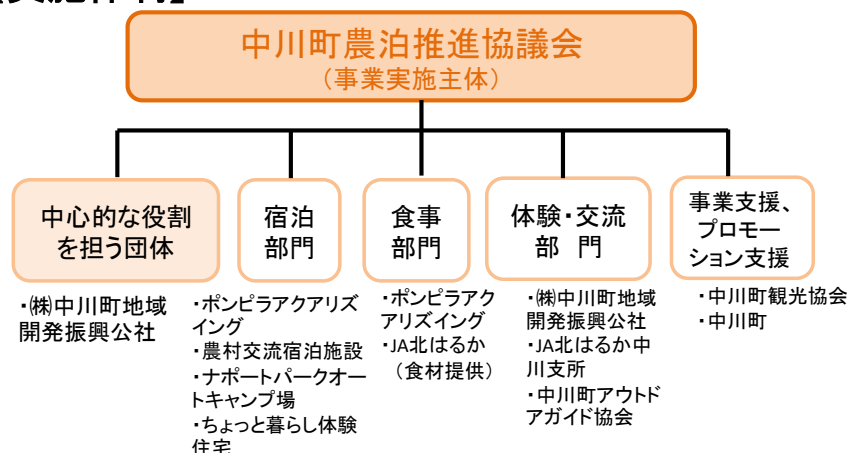


- 森林、農地、河川など豊富な地域資源、北海道大学中川研究林等による学術研究成果等をコンテンツ化し、体験メニューとして提供し滞在型のコンテンツを通じて宿泊者数の増加を図る。
- 単なる自然体験やアクティビティにとどまらない、自然再生や保全の取組そのものをコンテンツ化することにより、体験を楽しみながら地球環境に貢献できる取組を創出する。

北海道中川町



【実施体制】



【採 択 年 度】
令和4年度

【事業実施期間】
令和4～5年度

【特徴的な取組】

- 中核法人に観光担当部門を新設し、町内における観光の窓口を集約して一元的に推進
- 本来は有償ガイドが認められていない北海道大学中川研究林の活用や、中川町アウトドアガイド協会との連携により、森林・河川を活用した体験プログラムを開発
- 作成した体験プログラム、食事メニューのモニタツアーを実施、内容を検証しコンテンツ化



地元食材を活用した屋外ランチ



森林散策(スノーシュー体験)

【取組内容】

○推進体制の整備

→ 観光協会や各団体、宿泊施設等に受入態勢が分散していたが、中核法人である(株)中川町地域振興公社に窓口を集約し、協議会として円滑な情報共有と合意形成、意思決定を行える体制を構築

○地域資源を活かしたコンテンツの開発

→ 酪農家の協力のもと牧場見学や草地管理等を学ぶプログラムや林道をフィールドとしたトレイルランニング、水生生物の調査や観察するプログラムなどを体験コンテンツ化

○利用シーンを意識した食事メニューの開発

→ サイクリング向けのランチボックスやアクティビティの合間に提供するデザート、農場で食べる朝食をイメージした朝食ボックスなどを町産及び近隣町村の食材をメインに開発



トレイルランニング



水辺の生き物観察



酪農体験

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約



森林サイクリングツアー



木工クラフト体験